

令和 7 年 2 月 28 日

(宛先) 高 松 市 長

実績報告書

次のとおり令和 6 年度脱炭素型ライフスタイル推進モデル事業を実施したので、関係書類を添えて報告します。

氏名又は団体名称 及び代表者の氏名	吉田建設株式会社 代表取締役 吉田 健二
住所又は団体の主たる 事務所の所在地	高松市牟礼町牟礼 2109-3 TEL (087) 845-1188
事業名	親子で考える脱炭素社会の住宅 「むかしの家」と「これからの家」何が違うの？体験ツアー
選択テーマ (①～②)	①脱炭素型ライフスタイルへの第一歩をそつと後押し
決算額 (総事業費)	118,274 円
事業実施期間 (着手日・完了日)	令和 6 年 11 月 22 日～令和 7 年 2 月 28 日
事業実施内容及び実施状況	
※ 他の主体における再現性を意識し、事業の準備及び実施の経過を詳細に報告してください。	
■事業の趣旨 未来を担う子どもたちを対象に、家庭における節電や省エネ性の大切さ、カーボンニュートラルの意識向上を図ることを目的とする。 建築当時そのまま残した「むかしの家」と断熱改修した「これからの家」の両方を設けた築 50 年の中古住宅で、実際に寒さの違いを体感し、エアコンによる暖房の効果とそれに掛かる電気代（CO2 の排出量）を計算して、実体験から家庭部門における CO2 削減について考える。 ■実施スケジュール 開催日時：R7 年 2 月 1 日（土）、15 日（土）事業実施 ① 10：00～11：30 ② 13：00～14：30 ③ 15：00～16：30 1 回 5 組×1 日 3 サイクル×2 日間 合計 30 組（70～80 人）募集 対象：小学生（中高学年）と保護者 場所：暮らし体感ハウス「Resumu Lab.（りすむ らぼ）」 高松市牟礼町牟礼 350-7 広告：案内チラシ（A4 裏表カラー）（A4 裏表モノクロ） ⇒高松市広報誌・市内小学校・コミセン他 12 月末～1 月初めにチラシ配布 申込：当社イベント申し込みサイトから 1 月中旬頃 予定組数に達し、申し込みを締め切る 実施スタッフ 5 名	

■最終参加者

日時	参加組数	大人	子ども	合計
2月 1日 (土) 10:00～	5組	6名	6名	12名
13:00～	5組	6名	9名	15名
15:00～	5組	8名	8名	16名
2月 15日 (土) 10:00～	4組	8名	7名	15名
13:00～	4組	6名	7名	13名
15:00～	5組	8名	7名	15名

18組 42名 44名 86名
当日2組欠席

■ 当日実施スケジュール

- 受付 開始 10 分前
- 始業式 (ガイダンス) 10 分間
体験学習の内容説明・スタッフ紹介・子供たち自己紹介・グループ分け
- 体験学習 80 分間 (Aグループ; セクション①②③を 40 分・Bグループ; セクション④を 40 分 40 分後に交代)
 - ① サーモカメラを使った体感と写真撮影 (1 階⇒2 階)
サーモカメラを使って部屋の温度を測定
 - ② 温度測定スタンプラリー・電気製品調べ
建物内外 12カ所の温度計をスタンプラリー方式で調べて回る
建物内にある電化製品調べ
 - ③ 「むかしの家」と「これからの家」の違いを説明
建物の断熱性の違いで暖房費が違ふことの説明
 - ④ 1 時間目: 「社会」の授業
「地球温暖化」「カーボンニュートラル」についての勉強とクイズ
2 時間目: 「算数」の授業
電気代から CO₂ の排出量の計算と排出 CO₂ を吸収する樹木の本数計算
- 修了式 10 分間
クイズの賞品渡し・アンケート記入

事業実施による成果及び課題

■参加者アンケート

- ・温度計探しが楽しかった
- ・今、学校で環境問題について習い始めていて関心が高まっているようなので、今回のイベントは、子どもにとって理解が深められて良かったと思います。
- ・CO₂ などクイズで楽しかった
- ・テレビのビフォーアフターみたいでおもしろかったです。
- ・自分が大人になった時に省エネの物を買って節電して CO₂ を減らし、地球温暖化をなくしていきたいと思った
- ・昔と今との違いが明確にわかりやすく、6 年生で学ぶ家庭科の授業にもつながると思う
- ・CO₂ 削減は難しいけど、少しでも力になれるようにエアコンを使いすぎないように気を付けていこうと思った
- ・温度カメラをまた使ってみたいです。
- ・スタンプラリーを通していろいろな部屋の中を見学できるのもよかったです。
- ・将来建築士になりたいので勉強になりました。

■スタッフ感想

- ・各小学校へのチラシ配布によって 1 月中頃 (開催 2 週間前) には予約で埋まり、申し込みを締め切った。
- ・セミナーは子どもよりも大人の方の関心が強かった。
- ・全体的に楽しみながら体験を通して「地球温暖化」や「カーボンニュートラル」勉強できたのではないかな。

- ・クイズは親子で一緒に考えて答える形式で、親子で真剣に考えてくれた。レクチャーだけでなく、クイズを交えると楽しく学べる。
- ・時間配分はグループ分けの人数と子どもによって様々でしたが、特に長く待たせることもなく、良いバランスで回せたと思います。
- ・次回、夏休みに「夏休み自由研究」の題材として予告案内したら、ほぼ全員が参加したいとの意見をもらった。
- ・子どもだけではなく、大人の方もサーモカメラは喜んでいた。
- ・子ども対象にした「カーボンニュートラル」のセミナーは漫画を交えてできるだけわかりやすく作成したが、3, 4年生には難しすぎたか？
- ・今後、要望によって小学校単位で「校外学習」として受け入れを可能にしたい。

添 付 書 類	収支決算書 収支決算内訳書 補助対象経費を支払ったことを証する領収書等の写し
---------	--

注 記入欄は、適宜、行を追加し、又は資料を添付してください。

収支決算書

1 収入の部

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
高松市委託料	100,000 円	100,000 円	0 円	
自己負担		18,274 円	18,274 円	
計	100,000 円	118,274 円	18,274 円	

2 支出の部

区 分	予 算 額	決 算 額	差引増減額	摘 要
チラシデザイン料	66,000 円	66,000 円	0 円	
チラシ印刷費	25,000 円	32,180 円	7,180 円	印刷枚数の増・納期短縮
企画運営費	9,000 円	9,000 円	0 円	
クイズ賞品	0 円	5,094 円	5,094 円	温度計 6 個
来場プレゼント	0 円	6,000 円	6,000 円	ボールペン 60 本
計	100,000 円	118,274 円	18,274 円	

※ 対象経費

対象経費は、取組の内容に要する経費（人件費、謝金、交通費、使用料及び賃借料、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、役務費等）とする。ただし、備品購入費や施設整備費等のハード事業に係る経費、経常的な運営費、その他事業との関連性が認められない経費については対象外とする。

なお、人件費は費用弁償として最低限必要な額に限るものとし、イベント等における参加者に係る経費等は認めない。

収支決算内訳書 (単位：円)

(単位：円)

[illegible]